

普及項目	養殖
漁業種類等	貝類養殖
対象魚類	マガキ
対象海域	天草有明

天草市有明町大浦地先におけるマガキ浮遊幼生調査

天草広域本部水産課・陣内 康成

【背景・目的・目標（指標）】

天草市有明町大浦地先では、1 経営体が支柱式及びはえ縄式のマガキ養殖を営んでいる。当該経営体は地先海面で自家採苗を行っており、当該地先における浮遊幼生出現のパターンを把握することは採苗作業にかかる労力削減につながると考え、令和 2 年度（2020 年度）からマガキ浮遊幼生調査に着手している。

本年度も昨年同様、ピーク時に海水 200 リットル当たり 1 千個前後のマガキ浮遊幼生を確認し、調査定点及び調査手法が適切であると確認することを目標とした。

【普及の内容・特徴】

月日：令和 3 年（2021 年）4 月 30 日～9 月 22 日

場所：熊本県天草市有明町大浦地先

参加者：牡蠣養殖業者 1 名、水産課 1 名

内容：湾内（St. ①）に 1 点、湾外（St. ②）に 1 点の採水点を設定した（図 1 参照）。

令和 3 年（2021 年）4 月 30 日から 9 月 22 日まで、週に 1 回、湾内では水面下 1m、湾外では水面下 1m 及び 3m で 200 リットル採水した。採水に当たっては、漁船の採水ポンプを使い、採水口を設定水深まで下ろし、汲み上げた海水を目合い 100 μ m のプランクトンネットで濾水、濃縮後、サンプル瓶に保管、冷凍し、調査日の翌日以降、実態顕微鏡でマガキの浮遊幼生を計数した。

【成果・活用】

湾内では、令和 3 年（2021 年）5 月に 2 回（5 月 18 日、5 月 31 日）、8 月に 2 回（8 月 17 日、8 月 31 日）、海水 200 リットル当たり 1 千個を超える浮遊幼生が確認された。

また、湾外では 8 月 17 日に海水 200 リットル当たり 1 千個を超える浮遊幼生が確認された。なお、詳細な結果は図 2 のとおり。

令和 2 年度（2020 年度）は 6 月下旬から調査を開始したが、今年度は 4 月下旬から調査を開始したところ、5 月に浮遊幼生の出現個数の大きなピークが確認され、4 月下旬から開始することが妥当と思われた。

今後、さらに 1～2 年この調査を継続し、当該地先における浮遊幼生出現のパターンを把握し、マガキ養殖業者の採苗結果との相関を確認することで、採苗作業の効率化を目指す。

【達成度自己評価】

4 目標はほぼ達成できた（76～100%）

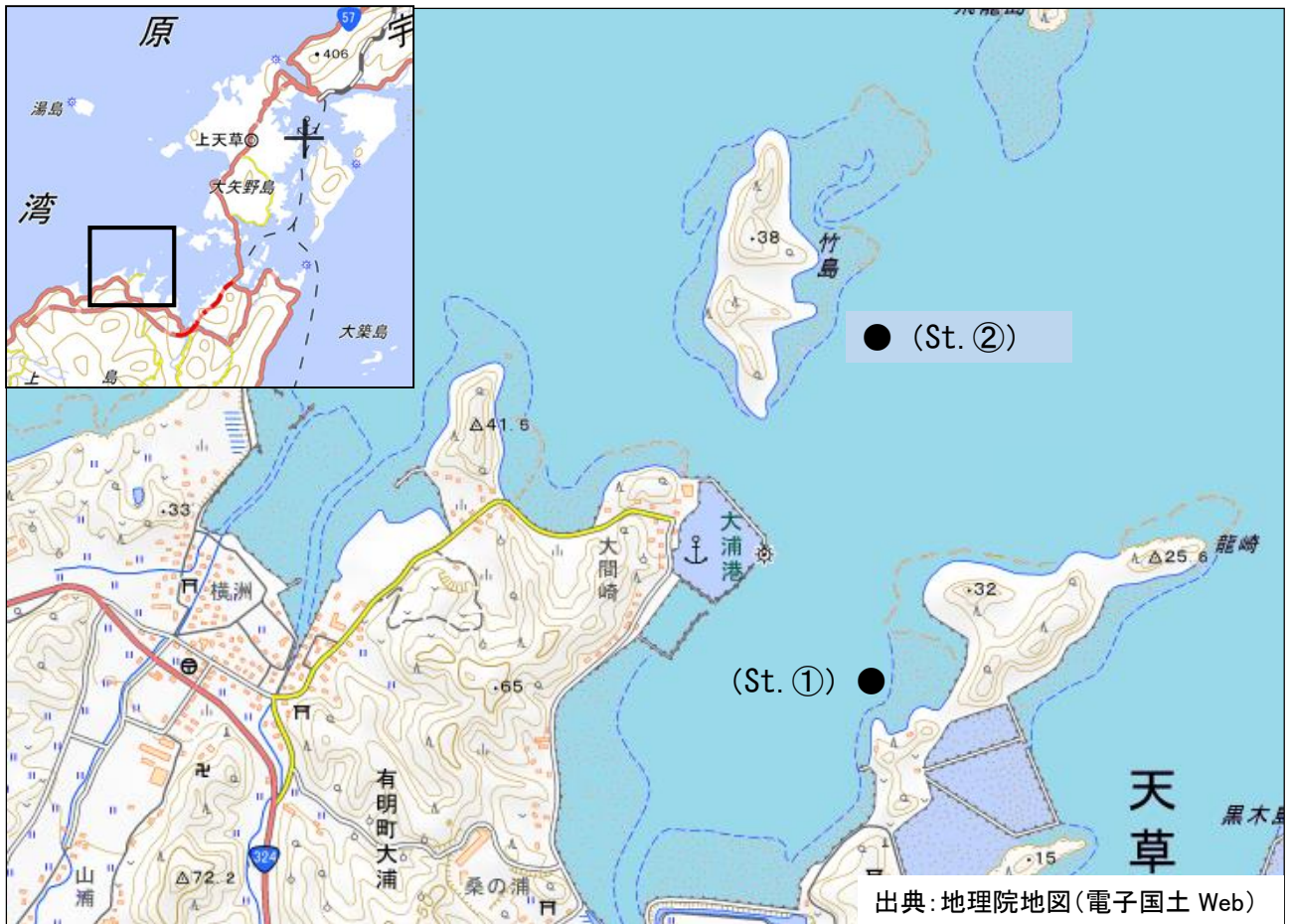


図1 マガキ浮遊幼生調査点

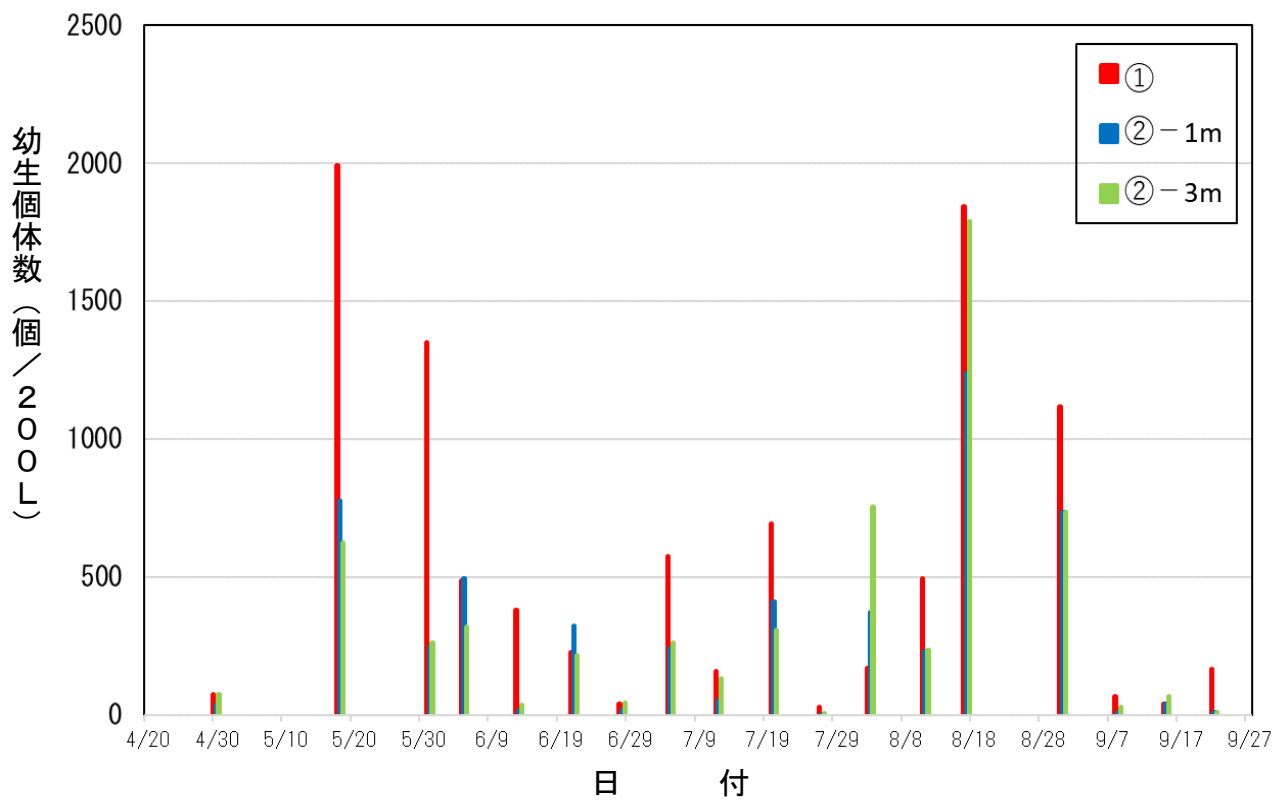


図2 二枚貝浮遊幼生出現状況